

ITU-T SG15 会合 WP2 課題別結果報告

資料 2-伝-1-SG15-WP2-Q5-課報	Q.5 結果報告
資料 2-伝-1-SG15-WP2-Q6-課報	Q.6 結果報告
資料 2-伝-1-SG15-WP2-Q7-課報	Q.7 結果報告
資料 2-伝-1-SG15-WP2-Q8-課報	Q.8 結果報告
資料 2-伝-1-SG15-WP2-Q16-課報	Q.16 結果報告
資料 2-伝-1-SG15-WP2-Q17-課報	Q.17 結果報告
資料 2-伝-1-SG15-WP2-Q18-課報	Q.18 結果報告
資料 2-伝-1-SG15-WP2-Q19-課報	Q.19 結果報告

I T U - T 会合への課題別結果報告

(会合名 : I T U - T S G 1 5 第 1 回会合)

提出元 : 日本代表团

課題番号	課題名	原題	Characteristics and test methods of optical fibres and cables
Q5/15		和訳	光ファイバ及びケーブルの特性と試験方法
		ラポータ名 (所属)	正 : T. Hanson (Corning、米) 副 : P. Regio (Telecom Italia、伊)

課題の審議概要 :

改訂勧告 G.657[低曲げ損失シングルモードファイバ]の新カテゴリー策定に関し、本会合ではコンセンサスを得られずコレスポネンス活動により審議を継続し、次会合にコンセンサスの予定である。

改訂勧告G.652 /655[シングルモードファイバ] [非零分散シフトファイバ]に関し、同意にいたらず、コレスポネンス活動での審議を継続することが承認された。

新規補助文書G.Sup.gafc[光ファイバの一般的特性]の提案に関し、コレスポネンス活動を今後も継続し、次会合でのアグリーメントを予定することが合意された。

結果 (全般的事項) :

1. G.657 [低曲げ損失シングルモードファイバ]の改訂

- ・ コレスポネンス活動報告ののち、曲げ半径5mm規格の追加の提案が審議された。
- ・ 信頼性、アプリケーション等が議論されたがコンセンサスが得られず、コレスポネンス活動による審議を継続することが承認された。

2. G.652 [シングルモード光ファイバ]およびG.655 [非零分散シフトファイバ]の改訂

- ・ コレスポネンス活動報告が行われた後、現行のケーブル仕様を屋外に限定する提案及びロス規定の変更提案が説明された。
- ・ 今会合でのコンセンサスは得られず、コレスポネンス活動による審議を継続し、2009年10月会合でのコンセンサスを目指す。
- ・ G.655の敷設ケーブルの損失モデルの情報提供があり、G.Sup39に反映することで合意した。

3. 新規補助文書G.Sup.gafc [光ファイバの一般特性] の提案

- ・ 前会合からのコレスポネンス活動の結果とFWMに関する記述案が報告され、草案に反映されることが合意された。
- ・ 引き続きコレスポネンス活動による審議を継続することに合意し、次回会合での初版合意を目指す。

4. 改訂勧告G.651.1[アクセス用マルチモードファイバ]の審議

- ・ 提案内容をAppendixに追加することで合意した。

5. 今後の予定

- ・ 中間会合は行わない。

提出した寄書の成果 :

- 1) C-64 補足文書の作成に関するコレスポネンス・サマリ並びにコンテンツの提案 (NTT)
 - 2) C-28 新規補足文書のFWMに関するテキスト案の提案 (線材協会)
- 上記 2 件の寄書に基づいて新規補助文書の審議が進捗し、今後審議を継続し次回会合にてアグリーメントすることが合意された。

今後の課題 :

G.652、G.655及びG.657の次会合での改訂に向けたコレスポネンス審議に積極的に寄与する。
光ファイバの一般的事項に関する新規補助文書の作成を進める。

勧告案一覧

勧告番号	種別	勧告名 (日本語名)	関連文書番号 (更新時期)	合意予定 時期	エディタ (所属国)	①審議結果 ②今後の課題
G.650.1	改訂	線形パラメータ試験法	(2004-04)	2010	G. Kuyt Draka-Comteq (オランダ)	①審議なし ②特になし
G.650.2	改訂	PMD及び非線形 パラメータ試験法	(2007-06)	2010	G. Kuyt Draka Comteq (オランダ)	①審議なし ②特になし
G.650.3	改訂	フィールド試験法	(2008-02)	2011	M. Cheng MII (中国)	①審議なし ②特になし
G.651.1	改正	アクセス用マルチモードファイバ	TD93(PLEN) (2008-12)	2010	G. Kuyt Draka-Comteq (オランダ)	①提案内容をAppendixに追加することで合意 ②特になし
G.652	改訂	シングルモード ファイバ	(2005-05)	2009-10	T. Hanson Corning (米国)	①改訂提案は合意に至らず ②コレスポンスにて継続審議予定
G.653	改訂	分散シフトファイバ	(2006-11)	2010	忠隈 線材協会 (日本)	①審議なし ②特になし
G.654	改訂	カットオフシフト ファイバ	(2006-11)	2010	石川 線材協会 (日本)	①審議なし ②特になし
G.655	改訂	非零分散シフト ファイバ	(2006-02)	2009-10	T. Hanson Corning (米国)	①改訂提案は合意に至らず ②コレスポンスにて継続審議予定
G.656	改訂	広波長域非零分散 ファイバ	(2006-11)	2010	谷川 線材協会 (日本)	①審議なし ②特になし
G.657	改訂	低曲げ損失シングル モードファイバ	(2006-11)	2009-10	G. Kuyt Draka-Comteq (オランダ)	①改訂提案は合意に至らず ②改訂に向けコレスポンスにて継続審議予定
G.Sup40	改訂	光ファイバケーブル ガイドライン	(2006-11)	TBD	中島 NTT (日本)	①審議なし ②特になし
G.Sup42 (WP2)	改訂	光伝達網関連勧告の ガイドライン	(2008-02)	TBD	G.Bonaventura Telecom Italia (イタリア)	①審議なし ②特になし
G.Sup.gafc	新規	光ファイバの一般特性	(未)	2009-10	白木 NTT (日本)	①追加記述を承認 ②コレスポンスにより継続審議

(注1) 種別には新規、改訂(revision)、付属書(Annex)、改正(Amendment)、訂正(Corrigendum)の別を記載。

(注2) 検討が進められている勧告案は、今会合で実質的に検討が行われていない場合でも記載する。

ITU-T 会合への課題別結果報告

(会合名：ITU-T SG15 第1回会合)

提出元：日本代表団

課題番号	課題名	原題	Characteristics of optical systems for terrestrial transport networks
Q6/15		和訳	陸上伝達網における光システムの特性
	ラポータ名 (所属)		P. Stassar (Finisar, 米)

課題の審議概要：改訂補助文書G.Sup39 [光システム設計] の草案について審議を行い、各種変調方式に関する追加記述に関する確認を行い、合意(アグリーメント)に至った。

結果 (全般的事項)：

1. 改訂補助文書 G.Sup39 [光システム設計]

- ・前会合からのレスポンスの結果をうけた草案に対し、G.655ファイバケーブルの損失情報の追加等を行い、合意(アグリーメント)に至った。

2. 改訂勧告 G.959.1 [OTN物理レイヤインタフェース]

- ・IEEEで標準化中の100GbEモジュール流用を意識したOTL4.4用10 kmアプリケーションコードを策定するための方針案が提案され、今後コレポン活動を通じて進捗する方針が合意された。

3. 改訂勧告G.695[CWDMインタフェース]

- ・10Gアプリケーション、特にIEEEで標準化中の40GbEモジュール流用を意識したOTL3.4用10kmコードの方針・パラメータ値案が提案され、今後コレポン活動を通じて進捗する方針が合意された。

4. 改訂勧告G.697 [DWDMシステム用光モニタ]

- ・OSNR測定法に関するAnnexへの記述内容について合意に至らず継続審議となった。
- ・パラメータ値の符号化フォーマットに関してAppendixを作成する方針で合意したとき台を作成、今後コレポン等で審議を継続することで合意した。

5. 改訂勧告G.698.2 [単一チャネルインタフェースを有する光増幅DWDMアプリケーション]

- ・消光比測定にベッセルフィルタを用いなくてもよい旨の注釈の適用範囲拡大が提案され、合意した。
- ・10Gbit/s, 50GHz間隔アプリケーションコードの検討に向け材料の提案があった。
- ・40G変調方式比較表について、非線形耐力値と高次偏波モード分散の追加が提案され比較表を更新した。

6. 改訂勧告G.696.1 [ドメイン内WDMアプリケーション]

- ・10G・40G 信号の混在伝送に関する Appendix 追加文案が提案され、継続審議する方針が合意された。
- ・クライアント信号クラスの記述追加が提案され、Q11 の関連審議の結論後に追加する方針で合意した。
- ・各種変調方式の記述追加提案については、G.sup39 を参照する形で盛り込むことで合意された。
- ・100G、ROADM、50GHz 間隔、高次偏波モード分散等の内容を追加する方針で合意した。

7. 改訂勧告 G.680 [光伝達関数]

- ・Channel DGD、Channel PDLパラメータの追記に関する改版案の内容を確認した。

提出した寄書の成果：

- 1) C-145: 勧告G.696.1の改訂に関する提案（NTT）
Q11の関連審議の結論が出た後に追加する方針で合意した。
- 2) C-81: 光伝送システムにおける電力消費問題の議論の促進提案（NTT）
議論が喚起され、Q6内のスコープの範囲で貢献できる検討を模索する方針が確認された。
- 3) C-82: G.sup39における符号誤り訂正技術に関する議論と詳細記述の促進提案（NTT）
Q11から検討を要求されたのちに審議を開始することで合意された。
- 4) C-152: 43G変調方式比較表のための非線形特性調査結果および提案（NEC）
40G変調方式比較表への反映が行われた。

今後の課題：

- 改訂勧告G.959.1に対するOTL4.4アプリケーションコードの追加を目指す
- 改訂勧告G.695に対するOTL3.4アプリケーションコードの追加を目指す
- 改訂勧告G.698.2に対する50GHz間隔10Gアプリケーションコードの追加の審議を継続する。
- 改訂勧告G.697 AppendixIに対するOSNR測定、パラメータ符号化法に関する記載追加を目指す。

勧告案一覧

勧告番号	種別	勧告名 (日本語名)	関連文書番号 (更新時期)	合意予定 時期	エディタ (所属国)	①審議結果 ②今後の課題
G.959.1	改訂	OTNドメイン間インタフェース	TD7 (WP2) 2008-12	TBD	P.Anslow Nortel Networks (イギリス)	①新規アプリケーションコード追加方針で合意 ②OTL4.4 アプリケーションコードの追加
G.696.1	改訂	ドメイン内WDMアプリケーション	-	TBD	A.Mattheus Deutsche Telekom (ドイツ)	①高速インターフェースに関する議論を継続した ②各種変調方式等に関する情報追加
G.697	改訂	DWDMシステム用光モニタ	TD23 (WP2) 2008-12	TBD	S.Beccia Huawei Technologies (イタリア)	① Appendixに対するOSNR測定、パラメータ符号化法の検討方針合意 ②上記の具体的文章を追加
G.695	改訂	CWDMインタフェース	TD19 (WP2) 2008-12	TBD	P.Stassar Finisar Corporation (アメリカ)	①10G光インターフェースなどを議論した ②OTL3.4アプリケーションコードの追加
G.680	改訂	光伝達関数	-	2010	S.Cascelli Ministry of Communications (イタリア)	① Channel DGD, Channel PDL項目の追加合意 ②各種パラメータ、用語の継続審議
G.698.2	改訂	単一チャネルインタフェースを有する光増幅DWDMアプリケーション	TD19 (WP2) 2008-12	TBD	B.Teichman Alcatel-Lucent (ドイツ)	①10Gb/s、50GHz間隔アプリケーション追加等を審議した ②具体的なパラメータ提案を待ち、継続審議
G.Sup39	改訂	光システム設計	TD84 (PLEN)	TBD	T. Hanson Corning (米国)	①新規変調方式などに関する追加記載を行い改訂アグリーメント。 ②特になし

(注1) 種別には新規、改訂(revision)、付属書(Annex)、改正(Amendment)、訂正(Corrigendum)の別を記載。

(注2) 検討が進められている勧告案は、今会合で実質的に検討が行われていない場合でも記載する。

ITU-T 会合への課題別結果報告

(会合名：ITU-T SG15 第1回会合)

提出元：日本代表団

課題番号	課題名	原題	Characteristics of optical components and subsystems
Q7/15		和訳	光部品、サブシステムの特性
	ラポータ名 (所属)	A. Mattheus (DT, ドイツ)	
<p>課題の審議概要：</p> <p>改訂勧告G.671[光部品とサブシステムの伝達特性]の草案およびPONスプリッタ仕様を審議した結果に基づき修正を施し、コンセントされた。</p>			
<p>結果 (全般的事項)：</p> <p>1. 今会期の Q7/SG15 の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Q7/SG15 は旧 Q7/SG15 と旧 Q9/SG6 から構成されることが紹介された。 <p>2. 改訂勧告 G. 671[光部品とサブシステムの伝達特性]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回会合までの結果と 3 つの改正勧告を反映させた草案に対し、さらに今回の審議の結果に基づき WR1 の波長仕様や用語などの修正が施され、コンセントされた。 ・ 合意に至らなかった PON スプリッタの一部の仕様値については議論を継続し、コレスポネンズ活動によって進捗を図ることで合意した。 <p>3. 改訂勧告 G. 663[光増幅器のデバイスとサブシステムの応用的側面]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 非線形位相雑音に関する内容を追加するため、G. 663 のエディタをリーダーとしたコレスポネンズ活動により議論を開始することで合意した。 <p>4. L シリーズ勧告と改版勧告 L. 50[屋内用光配線架]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 改版勧告 L. 50 のコンセントの打診があったが、推敲が必要なため本会合でのコンセントは見送りテキストを改版することで合意した。本件に関してコレスポネンズ活動により進捗を図ることで合意した。 ・ L シリーズ勧告群の整理・融合が検討されたが、エディタが不参加のためコレスポネンズ活動で進捗を図ることで合意した。 <p>5. 他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インターリーバの位相特性に関して Q6 への情報提供が募られ、Q6 で議論が継続されることが紹介された。 <p>6. 今後の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中間会合は開催しないことで合意した。 			
<p>提出した寄書の成果：</p> <p>1) G-129：G. 671改訂でのPONスプリッタ仕様に関する提案(NTT)</p> <p>WR1 について提案した 1480-1625nm への変更が合意され、今回コンセントされた G. 671 に反映された。Corning 社の強い反対により合意に至らなかった WR2 の仕様値については議論を継続し、コレスポネンズ活動によって進捗を図ることで合意した。</p>			
<p>今後の課題：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 改訂勧告G. 671のPONスプリッタ仕様のWR2の扱いについての審議を継続する。 ・ 次回会合コンセントへ向けて、L. 50の改版を進める。 			

勧告案一覧

勧告番号	種別	勧告名 (日本語名)	関連文書番号 (更新時期)	合意予定 時期	エディタ (所属国)	①審議結果 ②今後の課題
G.671	改訂	光部品とサブシステムの伝達特性	TD12R1 (PLEN) (2008-12)	---- TBD	A.Mattheus Deutache Telekom (ドイツ)	①今会合にてコンセント。一部仕様は継続審議で合意 ②改訂内容の検討
G.663	改訂	光増幅器のデバイスとサブシステムの応用的側面	----	TBD	T. Hoshida. Fujitsu (日本)	①非線形位相雑音に関するコレスポンス開始 ②改訂内容の検討
L.50	改訂	屋内用光配線架	TD32(WP2) (2008-12)	2009-09	J.Erreygers Tyco Electronics Raychem (ベルギー)	①今会合コンセントを見送る。 ②次会合コンセントへ向けた文章品質の改善
L.Distr	新規	加入者用分配器および端末	----	2011-03	J.Erreygers Tyco Electronics Raychem (ベルギー)	①新規作成を合意 ②内容の検討
L.Oxcon	新規	屋外用光クロスコネクタ筐体	----	2011-12	J.Erreygers Tyco Electronics Raychem (ベルギー)	①新規作成を合意 ②内容の検討
L.Drop	新規	終端された光ドロップケーブルと耐環境強化コネクタ	----	2012-06	J.Erreygers Tyco Electronics Raychem (ベルギー)	①新規作成を合意 ②内容の検討

(注1) 種別には新規、改訂(revision)、付属書(Annex)、改正(Amendment)、訂正(Corrigendum)の別を記載。

(注2) 検討が進められている勧告案は、今会合で実質的に検討が行われていない場合でも記載する。

ITU-T 会合への課題別結果報告

(会合名：ITU-T SG15 第1回会合)

提出元：日本代表団

課題番号	課題名	原題	Characteristics of optical fibre submarine cable systems
Q8/15		和訳	光ファイバ海底ケーブルシステムの特性
	ラポータ名 (所属)		正：白木 (NTT、日本)
課題の審議概要： 新勧告 G.lcasub[端局間 DWDM 無中継光海底システム]及び G.mdasub [単一チャンネルインターフェイスを有する DWDM 無中継光海底システム] は審議を継続し、次会合にコンセントする予定で合意した。 各既存勧告について今後のコンセント予定の確認と提案寄書の審議を行った。 新Q8/15課題の文面案についての審議を行い、合意された。			
結果 (全般的事項)： 1. 新勧告G.lcasub [端局間DWDM無中継光海底システム] <ul style="list-style-type: none"> 審議の結果、本勧告の適用範囲として光増幅器を含まない内容としてコンセントを目指すこととすることが確認され、今会合でのコンセント予定を次回に延期することになった。エディタが作成する修正草案を基にコレスポンス活動を行うことに合意した。 2. G.mdasub [単一チャンネルインターフェイスを有するDWDM無中継光海底システム] <ul style="list-style-type: none"> コンセント予定は次会合のままとし、コレスポンスでできるだけ審議を進めていくことで合意され、新たな項の追加が合意された。 3. 既存勧告の審議 <ul style="list-style-type: none"> G.971[光海底システムの一般事項]， G.976[光海底システムの試験法]及び補充文書 G.Sup.41[光海底システム設計のガイドライン] 提案された記述の追加が合意され、次会合までにドラフト案を準備し再度審議の予定。 G.973[無中継光海底システム]及び G.977[光増幅中継海底システム] 更なる情報提供を要請し、次会合で継続審議を進める。 4. 新 Q8/15 課題の文面案の審議 <ul style="list-style-type: none"> 新Q8/15課題の文面案についての審議を行い、いくつかのエディトリアルな修正ののち、新課題文面案が合意され、WP2 プレナリに送付することが合意された。 5. 今後の予定 <ul style="list-style-type: none"> 中間会合は行わない。 			
提出した寄書の成果： 1) C-56 ラマン利得の試験法に関する情報提供及び提案 (NTT) Raman分布測定の適用範囲に関する記述をG.976 Appendixへの追加を合意。			
今後の課題： 新勧告G.lcasub及びG.mdasubの次会合でのコンセントに向けコレスポンスによる審議を継続する。またG.971, G.976, G.Sup41の改訂に向けたドラフト案作成を進める。			

勧告案一覧

勧告番号	種別	勧告名 (日本語名)	関連文書番号 (更新時期)	合意予定 時期	エディタ (所属国)	①審議結果 ②今後の課題
G.971	改訂	光海底システムの 一般事項	(2007-06)	2010	中島 NTT (日本)	①審議なし ②Submersible Equipment等 の定義に関するドラフト案 の作成
G.972	改訂	光海底システムの 用語と定義	(2004-04)	2011	J. Wang MII (中国)	①審議なし ②特になし
G.973	改訂	無中継光海底システム	(2007-06)	2010	X. Li Huawei (中 国)	①10Gbps変調フォーマット について継続審議 ②パテントステートメント の確認と更なる情報提供
G.974	改訂	再生中継光海底 システム	(2007-06)	2010	白木 NTT (日本)	①審議なし ②特になし
G.975.1	改訂	高速光伝送用誤り訂正 符号	(2003-10)	2010	田島 NEC (日本)	①審議なし ②特になし
G.976	改訂	光海底システムの 試験法	(2007-06)	2010	忠隈 線材協会 (日本)	①ラマン利得分布の試験法 について継続審議 ②追加テキスト案の作成
G.977	改訂	光増幅中継 海底システム	(2006-11)	2011	W. Qiu China Unicom (中国)	①COTDRパラメータ及び数 値の審議 ②テキスト案の作成
G.978	改訂	光海底ケーブルの特性	(2006-11)	2010	中島 NTT (日本)	①審議なし ②特になし
G.Sup41	改訂	光海底システム設計の ガイドライン	(2007-06)	2010	O. Ait Sab Alcatel-Luc ent (フランス)	①給電方式に関する記述の 追加を合意 ②ドラフト案を再度審議
G.lcasub	新規	端局間DWDM無中継光 海底システム	(未)	2009-10	J. Wang MII (中国)	①リモートアンプを含まな い内容として合意 ②コレスポンスにより 継続審議
G.mdasub	新規	単一チャンネルインタ ーフェイスを有する DWDM無中継光海底シ ステム	(未)	2009-10	O. Ait Sab Alcatel-Luc ent (フランス)	①勧告のフレームを確認 ②コレスポンスにより 継続審議

(注1) 種別には新規、改訂(revision)、付属書(Annex)、改正(Amendment)、訂正(Corrigendum)の別を記載。

(注2) 検討が進められている勧告案は、今会合で実質的に検討が行われていない場合でも記載する。

ITU-T 会合への課題別結果報告

(会合名：ITU-T SG15 第1回会合)

提出元：日本電信電話株式会社

課題番号	課題名	原題	Optical physical infrastructure and cables
Q16/15		和訳	光基盤設備およびケーブル
ラポータ名 (所属)		正：Cottino 氏 (Sirti, イタリア) 副：富田氏 (NTT, 日本)	

課題の審議概要：電柱の品質管理及び集合住宅への光配線方法に関する新規勧告の作成を新たに加えて、Study Plan が合意された。

結果 (全般的事項)：

1. 今会期の Study Plan

- ・ アソシエイトラポータ (日本) から、G-84 に沿って Q16/15 のケーブル構造に関する Study Plan 案が説明され、案の通り了承された。

2. ドロップケーブルの新規勧告に関する質問状関連

- ・ アソシエイトラポータ (日本) から G-88 に沿ってドロップケーブルの新規勧告化の必要性について各国の意見を聞く Questionnaire の案が紹介された。案の通り了承され、TSB に送付することを合意した。

3. 電柱基部の非破壊検査方法に関する新規勧告の提案

- ・ Kim 氏から G-136 に沿って電柱基部の非破壊検査方法に関する新規勧告の制定が提案され、審議の結果、前会合で提案されていた電柱の品質管理に関する新規勧告 L.mpot の作成を進め、本草案はその勧告の Appendix とし、各国に電柱の品質管理方法を聞く質問状を発信することを合意した。

4. 集合住宅への光配線方法に関する新規勧告の作成の提案

- ・ Landos 氏から G-147 に沿って集合住宅への光配線方法に関する新規勧告の作成が提案され、審議の結果、新規勧告の作成に着手することが合意された。

5. ITU-T フライヤーの作成

- ・ 富田氏から旧 SG6 関連のフライヤーを作成する予定であることが紹介された。

6. 課題名の変更

- ・ WP2 オープニングプレナリで、“Optical physical layer” という課題名が広範過ぎて誤解を招くという指摘があったことから、課題名の変更が議論され、“Optical physical infrastructure and cables” に変更することを合意した。

提出した寄書の成果：G-84、88 を提出することで、ケーブル構造に関する勧告作成計画が了承され、アソシエイトラポータの獲得および日本主導での勧告制定に向けて貢献した。

今後の課題：

質問状の回答を取りまとめ、日本にとって技術的不都合が無いようドロップケーブルに関する勧告草案を作成する必要がある。また、集合住宅の光配線法に関して、日本の状況との相違が無いよう勧告案の動向を把握し、必要があれば積極的に関与する。

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
L.teib	新規	Optical cabling systems in building	COM15-C147
勧告案の合意状況または合意予定時期：2009			
審議結果及び今後の課題：日本のコメントが反映されていることを確認する			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
L.mpot	新規	Management of poles carrying overhead telecommunication lines	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2010			
審議結果及び今後の課題： 動向把握			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
L.cna	新規	An optical fibre cable constructions for a new application (such as water-pipe and gas-duct applications)	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2011			
審議結果及び今後の課題： 動向把握			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
L.cda	新規	Constructions of optical fibre cables for drop application	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2010			
審議結果及び今後の課題：質問状への回答を実施し、技術的不都合の無いよう積極的に関与する。			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
L.fmun	新規	Fast solution for mapping underground networks	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2010			
審議結果及び今後の課題： 動向把握			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
L.limt	新規	Low impact mini-trench installation technique	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2010			
審議結果及び今後の課題：動向把握			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
L.recc	新規	Installation of optical fibre cable by replacing of existing copper cables	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2011			
審議結果及び今後の課題：動向把握			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
L.coi	新規	Solution for installation of ducts and cables in an occupied infrastructure	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2010			
審議結果及び今後の課題：動向把握			

ITU-T 会合への課題別結果報告

(会合名：ITU-T SG15 第1回会合)

提出元：日本電信電話株式会社

課題番号	課題名	原題	Maintenance and operation of optical fibre cable network
Q17/15		和訳	光ファイバケーブル網の保守・運用
ラポータ名 (所属)		正：荒木氏 (NTT, 日本) 副：Zhuang 氏 (YOFC, 中国)	

課題の審議概要：新規勧告案 L.wsn について審議し、次会合以降のコンセンストを目標に議論を継続する。今会期の Study Plan について審議し、ほぼ案の通り承認された。

結果 (全般的事項) :

- 新規勧告案 L.wsn (屋外設備の無線モニタリングシステム) 関連
 - C-135 により、新規勧告案 L.wsn の修正ドラフトについて審議され、本勧告が無線通信を対象としたものではないことを明確にする必要があるとの指摘を受け、無線モニタリングシステムに関する 7.3 節を Appendix に移し、タイトルに関しては、誤解を招かないよう修正することを合意し、次会合までに修正ドラフトを作成することを確認した。また、SG13 及び ITU-R WP5A にリエゾンを送ることを合意した。
- L.80 (ID 技術を用いたネットワーク設備管理用 OSS の要求条件) に関するリエゾン関連
 - L.80 制定時に SG4 へ送付したリエゾンへの回答があり、その中で SG4 は Virtual meeting を提案しているが、既に L.80 は発行されているため、SG2 (旧 SG4) に対しては L.80 の状態を連絡し、その上で改訂が必要であれば検討する旨を回答することを合意した。
- 今会期の検討計画
 - ラポータ (日本) から C-83 にそって、Q17 の Study Plan を説明した。議論の結果、Q4/6 と Q6/6 の Study Plan をマージした 新たな Study Plan (WP2/15-TD32) が承認された。

提出した寄書の成果 :

C-83 を提出することで、光ファイバケーブルの保守運用に関する勧告作成計画が了承され、ラポータの獲得および日本主導での勧告制定に向けて貢献した。

今後の課題 :

Study Plan に沿って光ファイバケーブルの保守運用に関する勧告作成を日本主導で推進する。

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
L.wsn	新規	Monitoring system using wireless sensor network (WSN) for outside plant facilities	COM15-C135

勧告案の合意状況または合意予定時期：2011

審議結果及び今後の課題：日本のコメントが反映されていることを確認する

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
L.ofid	新規	Optical fibre identification for the maintenance of optical access networks	COM6-C46

勧告案の合意状況または合意予定時期：2010

審議結果及び今後の課題： 日本提出寄書により、勧告の概要について合意を得る			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
L. gpsm	新規	Use of GPS (Global Positioning System) to create referenced network maps	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2012			
審議結果及び今後の課題： 動向把握			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
L. omtl	新規	An optical fibre cable maintenance support, monitoring and testing system for optical fibre networks for trunk	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2012			
審議結果及び今後の課題： 日本提出寄書により、勧告の概要について合意を得る			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
L. fhm	新規	Outside plant facility health monitoring by using optical fibre cables and/or ubiquitous sensor networks (USN)	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2012			
審議結果及び今後の課題： 動向把握			

(注) 各勧告の動向の欄は、活発に検討が進められている勧告案について記載する。

ITU-T 会合への課題別結果報告

(会合名：ITU-T SG15 第1回会合)

提出元：日本電信電話株式会社

課題番号	課題名	原題	Development of optical networks in the access area
Q18/15		和訳	光アクセスネットワークの設計
	ラポータ名 (所属)		正：Reggiani 氏 (CPQD, ブラジル) 副：Delso 氏 (Telefonica, スペイン)
課題の審議概要：今会期の Study Plan について審議し、案の通り承認された。			
結果 (全般的事項)：			
1. 今会期の検討計画			
<ul style="list-style-type: none"> 日本から C-85 にそって、Q18 の Study Plan を説明し、了承された。また、次会合までに新勧告草案「FTTx における PON 構成」のドラフトを日本から提出することになった。 			
2. SG5 からのリエゾンへの対応			
<ul style="list-style-type: none"> SG5 より旧 Q3/6 で担当していた光網のアンバンドルに関する検討について SG15 にて取り扱えないかとのリエゾン (TD25) があり、Q8/15 としてはその意見に同意し、必要があれば Q8 にて検討する旨を回答した (TD39)。 			
提出した寄書の成果：			
C-85 を提出することで、光アクセス網の設計に関する勧告作成計画が了承され、日本主導での勧告制定に向けて貢献した。			
今後の課題：			
Study Plan に沿って光アクセス網の設計に関する勧告作成を日本主導で推進する。			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
L.pon	新規	PON configuration for FTTx	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2011			
審議結果及び今後の課題：提出寄書 (C-85) にて概要が確認され、第 2 回会合にドラフトを提出予定			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
L.uara	新規	Optical access network design of urban area and rural area	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2011			
審議結果及び今後の課題：提出寄書 (C-85) にて概要確認			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
L.aid	新規	Aerial infrastructure design for optical access network	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2012			
審議結果及び今後の課題：提出寄書 (C-85) にて概要確認			

(注) 各勧告の動向の欄は、活発に検討が進められている勧告案について記載する。

ITU-T 会合への課題別結果報告

(会合名：ITU-T SG15 第1回会合)

提出元：日本電信電話株式会社

課題番号	課題名	原題	Environmental Protection and Safety Aspects of Outside Plant
Q19/15		和訳	屋外設備の環境防護および安全面
		ラポータ名 (所属)	正：Fonseca 氏 (Anatel, ブラジル) 副：Curado 氏 (CPQD, ブラジル)
課題の審議概要：今会期の Study Plan について審議し承認された。			
結果 (全般的事項)：			
1. 今会期の検討計画			
<ul style="list-style-type: none"> Q19 への提出寄書・TD はなく、本課題の今後の進め方について議論された。SG6 の前会合において Study Plan が了承されていることから、その中で記述されている 2 件の勧告 (L.2 通信線用木柱の保護、L.24 屋外設備廃棄物の分類) について、ラポータが修正勧告草案を作成し、次会合に提出することで合意した。 			
提出した寄書の成果：			
日本提出寄書なし			
今後の課題：			
提出された勧告案について国内の状況との相違が無いよう動向を把握する。			

勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
L. lca	新規	The use of life cycle analysis in outside plant	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2011			
審議結果及び今後の課題：動向把握			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
L. recy	新規	Recycling of copper and optical fibre cables	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2011			
審議結果及び今後の課題：動向把握			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
L. esp	新規	Environmental sustainability practices and regulations in outside plant	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2010			
審議結果及び今後の課題：動向把握			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
L. 2	改訂	Preservation of wooden pole carrying overhead telecommunication lines	TD356 (GEN6)
勧告案の合意状況または合意予定時期：2009			

審議結果及び今後の課題：動向把握			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
L. 24	改訂	Classification of Outside Plant waste	TD355 (GEN6)
勧告案の合意状況または合意予定時期：2009			
審議結果及び今後の課題：動向把握			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
L. 45	改訂	Minimizing the Effect on the Environment from the Outside Plant in Telecommunication Networks	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2010			
審議結果及び今後の課題：動向把握			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
L. 63	改訂	Safety Procedures for Outdoors Installations	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2010			
審議結果及び今後の課題：動向把握			
勧告番号	種別	勧告名	最終文書番号
Hand book	新規	Hand book of environmental sustainability in outside plant	
勧告案の合意状況または合意予定時期：2012			
審議結果及び今後の課題：動向把握			

(注) 各勧告の動向の欄は、活発に検討が進められている勧告案について記載する。